

# 札幌社保協 FAXニュース

2016年 6月2日(木)  
社保協事務局 発行  
TEL823-0867 Fax821-3701  
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp  
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期  
高齢者110番は  
6月30日(木)です

## 参議院選挙で社会保障改悪にSTOPを！ 消費税増税は延期でなく中止を！

参議院選挙が6/22～7/10で行われます。国会閉会日に安倍首相は、消費税10%への増税を2年半延期すると発表しましたが、マスコミは「社会保障政策に影響が出る」などと報道しています。しかし、消費税＝社会保障の財源ではありません。消費税は低所得者への負担を増やすもので、延期より中止です。

さらに国は医療や介護の負担増、給付の削減、福祉サービスを買うものに変質させる、市場化・営利化を進めようとしています。安倍自公政権への国民の審判で、医療・介護・生活保護・年金・保育などの連続改悪をSTOPさせましょう。



4月26日、保育労組・保育連の本気で保育士の処遇改善を！緊急アピール宣伝。保育士・保護者・子ども・園長など、総勢30名が市役所前に結集！

## 「無料低額診療」利用者へ薬代の助成を



5/12札幌社保協は北海道保健企画・北海道勤医協と共に、「保険薬局での無料低額診療事業に関する要望」を市長あてに提出。市保健福祉局長へ要望書と共に、利用者・市民から集めた10,861筆の要望署名を手渡しました。保健企画5人、道勤医協2人が参加し田中、太田共産党市議が同席しました。

北海道勤医協等が行っている、経済的な事情などで治療費を支払えない人への無料低額診療では、医療機関での治療代などは減免になっても、保険薬局は制度の対象にならないため、薬代の負担が発生します。そのために無料低額診療の利用をあきらめたり、中断する人も少なからずいます。

北海道では旭川、苫小牧、東川、東神楽等の自治体が独自に無料低額診療利用者の薬代の助成制度を設けており、札幌市でも同様に助成制度を設けてほしいと要請しました。参加した薬剤師は、「無料低額診療で困窮している人が医療を受けられるようになり大変喜ばれているが、薬代の負担が重く治療をあきらめる人もいる、そのような人をなくしたい、行政としての助成をお願いしたいと要望しました。

市側も社会福祉法がかなり以前に制定されて、今の医薬分業の実態に合わないことや、他自治体が助成を行っていることは承知しているが、市独自に新たな医療費の助成制度を考えるのはなかなか厳しいものがあり慎重に検討したい。国への要望は、他の政令市とも相談しながらできるように努力したいと述べました。その後、札幌市では政令市の共同の国への要望項目に、無料低額診療の薬代助成についても提案をしているそうです。

## 年金者 チ力木 署名会



5/17年金者組合札幌支部協が、チ力木空間で「若い人も高齢者も安心できる年金を求めよう」署名を取り組みました。「これ以上年金が下がったら生活できない」「消費税の値上げは許せない」などの声がたくさん寄せられ、年金署名は523筆、「戦争法」廃止署名も407筆集まりました。

## 国保・介護・後期高齢者医療保険料など負担増に対抗する学習・決起集会

6月14日(火)

13:30～15:30

菊水ビル 4階中会議室

<内容>

- ①今年度の国保料・介護保険料、後期高齢者医療保険料について
- ②減免と滞納処分について
- ③国保料引き下げの運動について

生活保護  
利用者調査

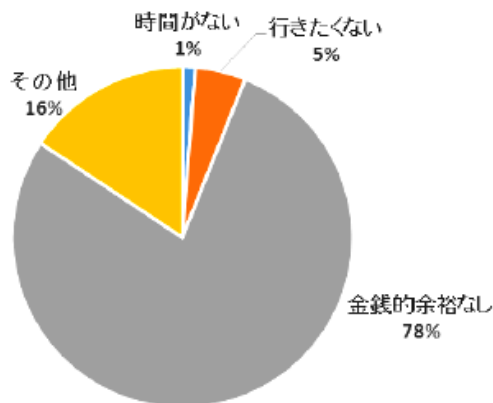
# 生活保護世帯の社会的孤立状態が明らかに

5/15「生活保護制度をよくする会」は、2015年の秋に取り組んだ生活保護費の切り下げの影響を明らかにする、調査結果の学習会を開催。木下武徳立教大教授が、126世帯の中間報告を行いました。

調査結果の中では、住宅環境、食事、衣服、入浴などで節約と我慢をしている状態が改めて明らかになりました。さらに大変なのは、下グラフのように「金銭的余裕なし」が理由で冠婚葬祭に行かない、町内会などの行事に参加しない、友人や親族に会わない、という人が多数になっていることです。人との付き合いが少なく、社会的に孤立している人が多いのが分かります。



冠婚葬祭に行かない理由



## 北区社保協総会 ~国保、生保、介護の厳しい実態が報告

しばらく役員体制の困難などで、総会が開けていなかった北区社保協ですが、5/21ほぼ2年ぶりに総会を開催し20人が参加。加入団体からの活動報告もあり、方針と予決算を確認し、新しい役員体制も選出され、再スタートができました。

高令者住宅の職員から、「入居費用は平均でも14万円超で、なかなか入れなくなっている。半年間で3人が退所した。何とか年金と貯金で払ってきたが、払えなくなって出ていかざるを得ない人がいる。幸い2人は家族の所へ戻り1人は老健施設へ入れた。途中で生活が困難になり、生活保護申請をする人もいる」と、最近の介護の住宅をめぐる状況について報告がありました。



## 白石区社保協総会 ~医療相談から見える貧困の実態を学習

5/14白石区社保協の総会が開催され、各団体から23人が参加。勤医協札幌病院の桜井さんが、相談事例から見える白石区の貧困について講演し、老後破産の映像も視聴しました。講演の中で右下表の2011年毎日新聞の調査が紹介され、「がんになったら何が心配か？」では、死ぬことが56%、治療費が72%という結果が出ています。治療法の進歩から「がん=死」ではないという理解が広まったことでもあります。治療に伴う大きな経済的負担に苦しむがん患者の問題が、広く知られるようになったため、と分析しています。

総会では各団体の活動報告もされ、議案と予決算、役員体制を確認しました。

